



〔竹口〕 中国企業の誘致はどのように進んでいるか。

〔町長〕 中国の国内事情によって法人設立が大幅に遅れていた。現在は日本法人の設立ができ、賃貸借契約ができたところ。今後は従業員の募集や準備が進む。公害防止協定の締結と

地元住民に情報は？

竹口議員

町長

進展があれば区長に連絡

協議も予定。
〔竹口〕 契約締結の際、中国企業の社長が話した内容は。
〔町長〕
・ 10人程度の雇用から始め、30人規模まで伸ばしたい。
・ 6カ月以内には操業したい。
・ 誘致企業16社の連絡会に加入し、事業者と交流を深めたい。
・ 地元の下木料と下坪の区長にあいさつに行った。
以上のような話をした。



企業誘致が進む旧光徳小学校

〔竹口〕 印刷会社の誘致に関して、住民にほとんど情報が届いてなかったのでは。
〔町長〕 地元集落で事前説明会をし、企業誘致に進展があれば連絡するという話で終わった。
その後、月に1回というような連絡までは入れてない。
職員が区長宅を訪問するなど、説明会以降3回程度報告し、進展があるごとに、区長へ電話で連絡した。

公社の資金繰りは？

竹口議員

町長

町の基金から借り入れている

〔竹口〕 大山恵みの里公社の運営方法は、現状のままではよいか。

〔町長〕 今後の運営は理事会で協議し、評議員会や生産者組織と議論を深めたい。

〔竹口〕 専務理事は就任時、自分の報酬の何倍も稼ぐと発言したが、現状は赤字である。
公社の目的は、あくまでも農家所得の向上。専務理事に対する町長の評価は。

〔町長〕 就任直後は

時間的に厳しい中で、数値化や次年度に向けて努力した。

〔竹口〕 財務状況、特に貸借対照表を見ると1000万円程度の資金がたりないように読み取れるが、どのように資金を回しているのか。

〔町長〕 今年度は町の基金から1000万円の短期借入れをし、資金繰りをしている。

〔竹口〕 担当課との

コミュニケーションのために、専務理事は今年度、何回程度担当課に来たか。
〔町長〕 一度も来ていない。

〔竹口〕 補助金は町が出し、理事長が町長という公社に、チェック機能が働かないというのは、問題だと感じないのか。

〔町長〕 どんな組織体制がよいかということ、答えることができない。



公社の拠点となる道の駅